

市重要事業

要望活動

市では第6次総合振興計画「元氣おぼなざわ創造プラン」や、「尾花沢市総合戦略」に基づく各種施策を実現するため、国や県に対し、来年度の各省庁の概算要求前の時期に合わせて、制度の改正等を23項目要望しました。



5月21日、菅根市長と大類市議会議員が、吉村山形県知事に要望書を手渡しました。また、国土交通省山形河川国道事務所に対しても、要望活動を行いました。

河川流下能力向上事業の促進について

河川の治水安全度の向上を図るため、土砂浚渫及び支障木の伐採等の事業を促進すること。

市の河川は、経年により土砂が堆積したり、支障木が繁茂したりして、川の流れに影響を及ぼしている箇所が多数あります。平成30年8月の豪雨の際には、アメダス観測史上最大となる大雨に見舞われ、8月中3度も土砂災害警戒情報が発令される異常事態にもなりました。頻発する豪雨による土砂等の堆積は洪水を助長する原因となり、市民生活を脅かす要因になりかねません。河川の治水安全度の向上を図るため、土砂浚渫・支障木伐採等事業が促進されるよう、要望しました。

農山村集落の振興

有害鳥獣対策支援センターを新設し、広域連携による効果的で速効性のある対策を講じること。

市ではサルやクマ、イノシシなどによる農作物への被害拡大や人的被害の発生が懸念されています。有害鳥獣被害対策協議会を中心に、追い払い活動や簡易電気柵の導入推進などの対策を進めていますが、被害が移動するなど、根本的な対策にはなっていないのが実状です。このため、本県における有害鳥獣対策に関する情報の収集、共有、発信、指導の拠点となる山形県有害鳥獣対策支援センターを新設し、広域連携による豪雪地帯に適した、効果的で速効性のある対策を講じるよう、要望しました。

地域交通網の維持に向けた取り組みへの財政支援
高齢者思いやりタクシー、福祉タクシーについて財政支援を行うこと。

本市では、地域のタクシー業者と連携しながら、75歳以上で普通乗用車運転免許証を持たない高齢者を対象にタクシー料金の一部を助成する「高齢者思いやりタクシー事業」、障がい者を対象にタクシー料金の一部を助成する「福祉タクシー事業」を実施しています。高齢者や障がい者の移動手段を確保するとともに、持続可能な地域社会の構築に必要な地域交通網を維持するため、本市が取り組んでいるこれらの事業に対し、財政支援を行うよう、要望しました。

その他の主要な要望事項

市民の安全・安心に関すること

- ・ 消防防災施設整備事業に係る補助対象設備の拡充
- ・ 国道347号北町地内十字路への交通安全施設（信号機）の整備促進

地域の発展に関すること

- ・ 地方交付税の総額確保と財源保障機能の維持
- ・ 一般国道347号の24時間通行通行促進及びバイパス化などの改良整備促進
- ・ 過疎地域における企業振興策の充実
- ・ 老朽化した公共施設の解体経費に対する財政支援

医療に関すること

- ・ 子育て支援医療制度の拡充
- ・ 診療所運営経費への財政支援
- ・ 国民健康保険制度への財政支援と充実強化
- ・ 北村山公立病院への財政支援

産業に関すること

- ・ 既存企業が積雪の量に左右されず安定した経営を図れるよう、除雪費用への助成
- ・ 本市の基幹産業である農業・農村の振興が図られるよう、各種制度の継続・拡充

社会基盤の整備に関すること

- ・ 雪国の安全・安心な暮らしを守るため、雪対策に対する財政支援の拡充
- ・ 東北中央自動車道の建設促進
- ・ 市道・県道の整備促進
- ・ 一級河川沢の川の河川改修
- ・ 土砂災害対策事業の整備促進
- ・ 流雪溝への導水に伴う水利権の許可
- ・ 一般県道東根尾花沢線の改良整備
- ・ 道路（橋梁）等長寿命化対策に係る点検診断費用への財政支援

あげられた市の課題



- ① 子どもを安心して産み育てられる環境を整備することは本市の重要課題。
- ② 地震と火災に強いまちづくりを進めるため、耐震性が高く、豪雪地帯でも支障なく使用できる消防設備の充実を図ることが急務。
- ③ 雪対策には流雪溝整備などのほか、地域を挙げた除雪体制の整備が重要。
- ④ 一般国道347号は、山形・宮城両県の発展、交流や産業振興に大変重要な役割を担っている。さらには災害時での通行ルートとしても重要。
- ⑤ 子どもたちが田植えを体験。市の基幹産業である農業の維持と担い手育成、農山村集落の振興策も重要な課題。